

登録コード	EKE01900	開講年度	2026			
授業科目	学校マネジメント				担当教員	宮野 尚 他
英文授業名	School Manegement				副担当	西 一夫・山口 学
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	履修学年
講義室				授業形態	講義	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 E A カリ, 2 5 E A カリ					
	教育の専門職としての学識・技能				⇔	①学校マネジメントの理論を踏まえて現状とその課題について分析できる。 ②学校マネジメントの理論を踏まえて運営とその方法について提言できる。
	2 6 E A カリ, 2 5 E A カリ, 2 4 E A カリ					
	既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力				⇔	③多様な事例の背景や諸要因の考察を通して、学校マネジメントに関する柔軟な発想力と深い省察力を身につけることができる。
(2)授業の概要	外部の専門機関である教職員支援機構（NITS）と連携し、機構の開催するスクール・マネジメント研修を組み込む。この高度な演習を通して全国のマネジメント状況を分析するとともに、必修5領域に設定されている「学級経営・学校経営」に実務的・専門的知識の習得を通して、学校経営能力の力量を高める。実践する組織マネジメントの先進事例をフィールドワークにより具体的に理解する。当研修会の事前授業において学校マネジメントの実践的な演習を行う。当研修会中はリフレクション、事後授業では、学校戦略MAPづくりのファシリテータとしてビジョン作成を支援する。担当教員が小学校・中学校での実務経験や、スクール・マネジメントの学術的知見に基づいて講義を行う。					
(3)授業計画	第1回：学校を取り巻く環境と組織マネジメントの必要性 …教職大学院 第2回：学校組織マネジメント指導者研修の計画書およびSWOT分析 …教職大学院 第3回：学校を取り巻く外部環境の分析 …教職員支援機構 第4回：学校の内部環境の分析と課題把握 …教職員支援機構 第5回：学校経営ビジョンの必要性と構成要素 …教職員支援機構 第6回：自校の特色づくりと問題解決のシミュレーション …教職員支援機構 第7回：行政研修の実情と課題 …教職員支援機構 第8回：学校ビジョンの作成 …教職員支援機構 第9回：事例分析とリフレクション …教職員支援機構 第10回：特色ある学校づくりー財務マネジメントー …教職員支援機構 第11回：特色ある学校づくりーヒューマンリソースマネジメントー …教職員支援機構 第12回：マネジメント研修の企画（1）ー研修内容・方法の立案 …教職大学院 第13回：マネジメント研修の運営（2）ー研修の運営と評価ー …教職大学院 第14回：マネジメント研修のリフレクション …教職大学院 定期試験 なお受講者の関心や学習状況に即して、トピックの順序や力点を柔軟に変更する予定である。					
(4)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・授業の達成目標①～③に関わる省察ポートフォリオの作成状況:50% ・授業の達成目標①～③の到達度を確認するまとめレポート：50% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可					
(5)履修上の注意	・授業は教職員支援機構との連携において集中講義で行う。 ・リフレクションおよび事例検討や研修の企画・運営は小グループを編成し、グループごとに展開する。 開催時間および開催場所はグループにより適宜決定する。					
(6)質問,相談への対応および連絡先	・質問・相談は随時受け付けておりますが、事前に下記のメールアドレスへの連絡をお願いします。 担当教員の連絡先（五十音順） 西 一夫 nishika@shinshu-u.ac.jp 宮野 尚 mhisashi@shinshu-u.ac.jp 矢田直也 yada_naoya@shinshu-u.ac.jp 山口学 m_yamaguchi@shinshu-u.ac.jp					
(7)成績評価の基準	「卓越している」：学校マネジメントの理論を十分に理解し、マネジメントの具体的運営を自校の特色に合わせて提言している。 「かなり上である」：学校マネジメントの理論を理解し、マネジメントの具体的運営を提言している。 「やや上にある」：学校マネジメントの理論を理解し、マネジメントの運営を提言している。 「水準にある」：学校マネジメントの理論を理解し、マネジメントの運営が必要であることを認識している。					
(8)事前事後学習の内容について	・指定された事前学習課題に取り組み、授業後は学校戦略MAPを通して、マネジメント・シートに自分自身の学びの履歴を記録するとともにOJTにおいて実践する。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					

【教科書】	指定しない
【参考書】	講義全体に関わる参考文献としては、以下2点が挙げられる。 その他、授業の中で、トピックに関係するものを適宜紹介する ピーター・ゼンゲほか（2014）『学習する学校—子ども・教員・親・地域で未来の学びを創造する—』英治出版 ジャルヴァース・R・ブッシュ，ロバート・J・マーシャク，エドガー・H・シャイン／中村和彦（2018）『対話型組織開発—その理論的系譜と実践—』英治出版 浜田博文ほか（2020）『学校ガバナンス改革と危機に立つ「教職の専門性」』学文社